

<p><b>(関連分野)</b> 環境・低炭素</p>
<p><b>(事業の名称)</b> 生ごみのエタノール化モデル事業</p>
<p><b>(関係省庁名)</b> 環境省</p>
<p><b>事業の概要</b></p> <p><b>(事業内容)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭から排出される生ごみを発酵させてエタノール化するモデル事業として、ふるさと雇用再生特別交付金委託事業により、市町村による一般廃棄物処理事業の一環として、一般家庭への普及・啓発や収集運搬業務を支援し、生ごみのバイオエタノール化を促す。</li> <li>・ 生成したエタノールは、地域でガソリンとブレンドし、行政機関や関係者により、E3燃料として活用する。</li> </ul> <p><b>(関係者の役割)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村：市民への普及啓発活動の実施、収集運搬業務委託先の選定・監督など</li> <li>・ 事業者：バイオエタノール・E3製造、販売</li> </ul>
<p><b>(事業展開に必要な事項・規制緩和など)</b> 制度改正：特になし</p>
<p><b>(期待される効果)</b> 定性的効果</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 市民のごみに対する意識改革が進み、資源の有効利用に対する意識が高まる。</li> <li>② 生ごみの有効利用が進み、市町村のごみ焼却炉の負担が軽減される。</li> <li>③ バイオエタノールの活用によるCO2削減効果が得られる。</li> <li>④ 生ごみの分別収集により、廃棄物処理業者のビジネスチャンスが生じ、作業者の雇用創出効果が得られる。</li> <li>⑤ バイオエタノール工場を、市民の環境教育の場として活用できる</li> </ol>
<p><b>(先行事例)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 福岡県北九州市・食品廃棄物のエタノール化実証事業：NEDOの補助金により施設整備がなされ、現在、事業系廃棄物を中心として実証研究中</li> <li>② 東京都江東区・小中学校給食ごみのエタノール化・バイオガス回収実証研究：東京ガスが主体となって小規模な実証研究を実施中。</li> </ol>
<p><b>(期間後の取扱い)</b></p>
<p><b>(関係省庁担当者連絡先)</b> 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課 課長補佐 作花 / 係員 梁瀬 電話番号：03-5501-3154 (直通) / ファックス：03-3593-8263</p>